



期限内完了を強調

上関原発
埋め立て

中国電社長 知事に面会

中国電力(広島市)の清水社長が10日、県庁を訪れ、村岡副知事を面会した。公有水面埋め立て工事の調査結果と同様、取扱いに応じた中國電力の清水社

に先立つ海上ボーリング調査着手できず、上関原発建設予定地(上関町)の当初ベケシユールよりも大幅に遅れてしまふ」と述べて、「期限内に埋め立て完了を目標とする」というのが終わらぬ無」と強調した。

中国電は2019年の7月に縣かん理め立て免許の申請許可を得るが、この度とも海上ボーリング調査着手

は「安金鑑」でやるがと考えたが進められなかつたのは残念だ。理解する。

清水社長は海上ボーリング調査について、「実施はそれまではなに。そういうたまは訴訟なども起つていいが、今回の抗議行動への法的対抗措置について、清水社長は「裏

【坂野口回】

すめ」としたが、必要「できれば」と考えていた。開港時に遅れた。10月に占用許可を受け、11月14日を着手予定期と公表したが、反対派住民によると申し上りの状況に検討中だ。いつから無いと想はれていた。中国電は89年の埋め立て工事着手後、海上調査の一時中断を決まり立てるが、今年の抗議行動と無いと想はれていた。中国電は89年の埋め立て工事着手後、海上調査の一時中断を決まり立てるが、今年の抗議行動と無いと想はれていた。中国電は89年の埋め立て工事着手後、海上調査の一時中断を決まり立てるが、今年の抗議活動への法的対抗措置について、清水社長は「裏

【坂野口回】

1月11日(土曜日)

音楽

発行

版面

たい」と述べ、岡学長は「生活に身近な流通の分野で我々の技術を活用し、県民に貢献していく」と語った。

上関原発必要性

ますます高く

上関町で上関原子力発電所建設計画を進める中国電力の清水社長は10日、県庁で報道陣の取材に、
れる二酸化炭素の削減目

標達成に向けて、上関はますます必要性が高くなる。地元理解を得ながらボーリング調査をしたい」と述べた。清水社長はこの日、村岡副知事への年始のあいさつで訪問。同社は昨年6月、建設予定地の公有水面埋め立て免許の延長を県に申請し、県は翌月に許可した。同社はボーリング調査を実施する計画だったが、地元住民の抗議活動などで実施できかねり、同12月、調査が必要な海域の占用許可の廃止届を県に提出している。